



編集・発行
 日蓮宗 能勢妙見山
 広報部
 〒563-0132
 大阪府豊能郡能勢町野間中
 電話 072-739-0329
 FAX 072-739-2883

八朔祭祈祷

9月4日(日) 午前9時～午後4時 開運殿にてご祈祷

秋季彼岸会法要

9月22日(木) 午後1時 於祥雲閣

ご祈祷・ご回向は寺務所までお申し込み下さい(御志納料五千元より)

【9月の主な行事】

☆八朔祭祈祷

4日(日) 9時～16時

御祈祷お申込の方には開運「八朔田之実守」授与
 餅撒き・奉納演奏等のイベントは中止します

★写経会

11日(日) 11時

★清掃の日

15日(木) 11時

★月例祈願法要

15日(木) 13時

☆秋季彼岸会法要

22日(木) 13時

★鷗様月例祭

22日(木) 15時

【10月の行事予定】

★清掃の日

15日(土) 11時

★月例祈願法要

15日(土) 13時

★鷗様月例祭

22日(土) 15時

●星嶺演奏会・茶論は当面の間休止

○諸行事は社会情勢により変更する場合があります

◎ご祈祷・ご回向等は

郵便・FAX・メールでも受け付けています

◎写経はご自宅でもできます お問い合わせ下さい

○出会いの鐘巡りは「ひらがなあつめ」に代えて実施中

○登山カード押印は休止

○送迎車の運行は休止しています

◆ケーブル&リフトは水・木が定休日です(ただし、行楽シーズンなど例外あり)。詳細は能勢電鉄へお問い合わせ下さい。(Tel 072-7992-7716)

コロナに負けずに

詠裡庵

——二年ぶりに催される
祇園祭です。嬉しい限りで
す——

テレビをつけた時、こ
んな声が聞こえてきました。
たしかに、お祭は心を躍ら
せてくれる行事です。

新型コロナの感染が広が
り、医療体制も厳しい状況
になりました。マスクをつ
けて会話をしているも、効
果が見られずどんどん広
がって行きました。外出も
制限され、不要不急の外出
は避けるようにと言われて
きました。

そんな今までの状況を踏
まえて、感染対策をした上
で、今年はお祭りを挙行し
ようということになったの
です。だれもの意気が高ま
り、うれしさが広がってい
くようでした。

祇園祭は山や鉦が何台も
出ます。それに関わる人た

ちの人数も半端なものでは
ないでしょう。その人たち
の協力と息の合った動きが
大きな山鉦を生き還らせる
のです。直角に方向転換す
る時には、昔から伝えられ
た技法を使って、青竹を道
に並べ、その上を滑らせて
回転させる。テレビ画面を
通していても、思わず見入っ
てしまいます。

表に出ている人だけでは
なく、裏方も大変な事では
う。関係者全ての人々の気
持ちがひとつにならないと、
これだけ活気のあるお祭り
にはならないことと思いま
す。テレビの映像は、いつ
にない賑わいを伝えてくれ
ました。

山鉦の巡行は、実際に動
かすことによつて動かし方
が伝えられるのだと聞きま
す。言葉では伝わらないこ
と、たとえば傾斜に合わせ
て速度を変えるなどです。
また山鉦そのものとそれを
彩る様々な装飾は、まさに

宝物というにふさわしいも
のです。その扱ひ方もまた
長い年月をかけて伝えられ
てきたものです。これを次
の世代に伝えることの大切
さを改めて知る思いです。

コロナ禍におおわれた世
の中ですが、感染を怖れる
だけではなく、大切なもの
は守り伝えることができる
よう、気をつけながらも工
夫し、楽しみを忘れること
なく過ごしていきたいもの
です。

一口メモ

今月はお彼岸月です。春
分秋分の日を中日とし、そ
の前後の七日間が彼岸です。
昼夜の長さが等しい彼岸の
中日は仏教に説く片寄りや
とらわれのない中道の教え
に通じる特別な期間とされ
てきました。彼岸という言
葉は、私たちの迷いの世界
に対する仏の悟りの世界を
意味します。仏やご先祖に
報恩を捧げ、善根功德を積
む期間と致しましょう。

《法華経に学ぶ現代》

〜純智庵〜

一偈に

於ても

随喜して

他の為に

説かん

『随喜功德品第十八』

素敵な言葉に出会ったら

心にメモしてみませんか

何度も何度も口ずさみ

しっかりと心に

刻みましよう

そして他人にも伝えましょう

マスクよりは口こみが

広く大きな輪となつて

みんなに感動与えます

仏教まめ辞典

我慢

九月に入つて、炎
暑も和らぐかと期待
しているのですが、
涼しくなつたらなつ
たで、今度は寒さが
どうなるかまた気に
かかります。暑いだの寒いだ
のとブツブツ言いながら、
少々のことは我慢しなさいと
言われそうです。

我慢というと、辛抱、忍耐
など良い意味に使われていま
すが、もとは仏教では六つの
根本煩惱のひとつ「慢」に属
するものです。慢とは慢心の
ことで、自らを誇示しおごり
高ぶり、逆に他に対しては軽
侮する心のことを言います。
慢はさらに七つに分類され、
その5番目が我慢とされま
す。我慢とは自己に執着して
他を省みず、言われなき優越
感を抱くことなのです。
人は他と互いに寄り添つて
生きていくものです。このよ
うな我慢に陥ることなく、共
に助け合つていくことが肝要
だと、仏は諭されています。